

江差町立南が丘小学校



かけはし

【本年度の重点目標】
『学びを見通し、自分の目標に近づこうと努力できる
子どもの育成』
〔笑顔!〕〔学び合い!〕〔習慣!〕
Tel.0139-52-0524 Fax.0139-52-5489

『夏の終わりに』

南が丘小学校長 中山秀悦

朝夕の風が肌にひんやりと感じられる頃となりました。気がつくとも長袖の服、となるのももうすぐかもしれません。8月21日(火)、夏季休業を終え、学校が再開しました。子どもたち、教職員全員が元気に登校・出勤しています。朝、立ち止まって明るく挨拶してくれ、校舎に入って行く子どもたち、先生方を見てつくづく思います。それが何より、と。

江差中心部の学校に勤めて初めての夏。姥大神宮渡御祭の素晴らしさも実感させていただきました。山車の重み。その自重だけではなく、歴史の重み。本陣から出るとき、入るときの近づきがい。厳粛な雰囲気。ほれほれする切り声。参加することと、山車の運行に関わることの違い。祇園の流れを汲むというこのお祭りの雰囲気を、京都市の父に見せてあげたかったなと、山車の綱を引きながら考えていました。

その雰囲気の中ではしゃぎ、弾ける子どもたち。卒業生や地域の大人との一体感を感じながら楽しんでいたことでしょう。少しセピア色がかかった町の風景が、今でも余韻となっています。

夏が過ぎていきます。一年が過ぎていくのが何か寂しい。いい学校。いい町。平成の世も終わるのですね。決して歳を取ったとは思っていないのですが、この時期はいつも、「自分が子どもだった頃はまだ戦後20年ほどだったのだよな」と考えるのです。路線バスにはバスガイドさんが乗っていて、車内で切符を買っていたし、道路もまだ全てが舗装ではなかった。壊れた防空壕跡は、子どもたちのかくれんぼの場所だった。学生帽をかぶっていたし、登下校には靴袋を持って歩いていた。ちょうど、映画『always 3丁目の夕日』の時代。少し懐かしい。2年後の東京オリンピックの開閉会式の演出を手がける、『3丁目の夕日』の映画監督・山崎貴氏。その演出が今から楽しみです。

少しノスタルジックな気分で迎える9月。勉学の秋。南小学校力公開研究会が目前です。学校が一つのチームとなつての「主体的、対話的で深い学び」の追究。今度は授業で弾ける子どもたち、先生方の姿を楽しみにしています。

夏休みの思い出がたくさんできましたか ~気持ちを切り替え、学校生活を送りましょう!~

8月21日(火)、25日間の夏休みが終わり、学校に明るい子ども達の笑い声が帰ってきました。今年の夏休みは例年になく、暑い日が多かったのですが、子ども達は体調を崩すこともなく、元気に過ごしていたのではないのでしょうか?

夏休みが終わり、前期終了の9月28日まで、残りわずかとなりました。また冬休みまでの間には、学習発表会等の大きな行事も予定されています。目標をしっかりともち、その目標を達成するために根気強く努力してほしいと考えております。



夏休み明け全校集会では

夏休み明け全校集会では学校長より「今日一日でペースを取り戻し、勉強や運動を頑張ってもらいたい」とお話がありました。また交通事故や「クマ」の注意等についてのお話がありました。

廊下には夏休みの思い出、作品が飾られました

1階ホールや廊下に、夏休みの工作や自由研究などが飾られています。25日間の長い夏休み。普段できないことに、じっくりと時間をかけて取り組んだ力作が勢ぞろいしています。保護者、地域の皆様、学校にお越しの際は、是非ご覧ください。



「10円玉を身近なものピカピカにする実験」で、「ケチャップ」や「めんつゆ」、「アリエール」などを使った実験も紹介されています。



牛乳パック等を使った「ビュンビュン」ビー玉コースターは、とても楽しい作品です。

一年生の教室の前には、夏休みの絵日記も飾られています。



はじめての夏休みの思い出を
たくさん描きました。
おもしろい思い出を
たくさん描きました。
おもしろい思い出を
たくさん描きました。
おもしろい思い出を
たくさん描きました。

お家の方々の協力を得たり、自分で考え、取り組んだ作品が、まだまだたくさん展示されています。

25日間の休みが終わったこの時期は

全国的に、夏休みが終わったこの時期は、生活リズムの乱れや学校生活の不安から、「学校に行きたがらない」児童が増える傾向があるとされています。



- 食欲不振で顔色が悪い
- 自分の部屋に閉じこもりがちになる
- 家族との会話が減る 等

左枠のような変化が子ども達に見られる場合は、ご家庭においても、「じっくりと子どもたちと話をする」「相談にのる」等、子ども達の変化を感じとってあげてほしいと思います。

また、何かありましたら、気軽に、担任、養護教諭など、学校に相談願います。

また、学校以外にも、身近に相談できる場として次のような相談窓口が開設されています。

○ 檜山教育局の教育相談電話
●教育相談電話 0139-52-1123 (月曜日から金曜日 8:45~17:30)

○ 管内で不登校に係る相談ができる窓口等		
相談窓口	電話番号	相談時間等
江差町教育委員会学校教育課	0139-52-1059	月曜~金曜(祝日除く) 8:45~17:15

「夏休み子ども朝活」が行われました！！

夏休みに各学年およそ3日間の学習会を行いました。

5,6年生は、朝8時から正午までの時間に

①「夏季休業中に早起きし、主体的に学習や様々な体験活動に参加することにより、望ましい生活習慣を身に付ける。」

②「異学年での活動や様々な人との触れ合いを通し、助け合いや感謝の気持ちを育む。」の2つのねらいのもと、「子ども朝活」を実施しました。



朝8時に登校し、体を整えるストレッチタイム。その後、学習等の課題解決タイム。そして、後半は、様々な体験活動を行いました。

7月27日(金)は、江差町赤十字奉仕団の皆様のご協力のもと、「炊き出し体験」を行いました。災害時を想定し、「蒸しパン」や「簡単ケチャップライス」、「かぼちゃの煮物」を作りました。「炊き出し用」の大きな鍋に参加した児童も驚きながら、防災意識を高めることができました。



最後に調理した料理をお昼に全員で食べました。とてもおいしかったです。



7月30日(月)は、江差町教育委員会 宮原浩氏を講師に、「ハンコ作り」を行いました。江戸時代に江差で出会った松浦武四郎と頼三樹三郎が作ったと言われる「百印百詩」に挑戦しました。参加した子ども達は、「ハンコ作り」の難しさを肌で感じとっていました。



8月20日(月)は、炭火で「ピザ焼き」作りに取り組みました。自分達でトッピングをし、炭火の上にセットした簡易ピザ焼き釜でピザを焼きました。およそ5分でおいしいピザが焼きあがりました。

学習会に中学生も来てくれました！

7月30日(月)に行われた1,2年生の学習会には、江差中学校の生徒会執行部4名が来てくれ、勉強を教えてくださいました。



中学生が丸つけや分からないところを優しく教えてください、1,2年生も楽しく学ぶことができました。

江差中学校生徒会執行部の皆さんありがとうございました。

「クマ」の出没情報が相次いでいます！

7月から校区内でも「クマ」の出没情報が相次いでいます。

- 7月25日(木) 江差町円山「ふれあいセンター」裏手の山林にて親子熊目撃。
- 8月19日(日) 江差町円山地区 江差中学校向かい山林近くの住宅前の道路、体長2メートルのヒグマが一頭目撃。

学校では、次の点について学級指導を行っております。

- 帰宅時間等をしっかりと守り、暗くなってから外で遊ぶのは控える。
- 近隣市町村でも熊目撃情報が相次いでおります。山林に入る場合は、複数目撃保護者(責任もてる大人)同伴をお願いします。

また、江差町産業振興課からも「クマに遭わないための8か条」や「もしクマに出遭ったら」ということで啓発資料が届いております。

山でクマに遭わないための8か条！！

- その1 「単独ではなく複数で行動する」
- その2 「鈴やラジオで時々音を出しながら行動する」
- その3 「絶えず周囲の様子に気を配る」
- その4 「音が消される強風時や沢沿いは特に注意する」
- その5 「夜間、明け方、夕方の入山は避ける」
- その6 「食べ残しは放置せず密封して持ち帰る」
- その7 「撃退グッズ(忌避スプレー、鉈など)も活用する」
- その8 「地域のクマ情報を確認しながら出かける」

もしクマに出遭ったら！！

- 走って逃げない！背中を見せない！
- 持ち物(帽子や服など)を静かに置いて注意をそらす
- 注意しながら静かに後退する
- クマとの間に木や岩を挟むようにする
- 風向きに注意して撃退スプレーを使う(持っていれば)
- クマが攻撃してきたら両手で顔や頭をカバーし防衛する。

山や森に入ることは、クマの生活場所に入ることです。何よりもクマに出遭わない工夫をすることが大切です。

近年、クマの生息地域では、クマの出没が増加しています。ご家庭でも子ども達へのご指導をお願いいたします。



教職員向け不審者対策講習会の実施

8月23日(木)に江差警察署のご指導のもと、校内教職員向け不審者対策講習会を実施しました。当日は、不審者が「子どもに会わせろ！」と校内に侵入したという想定で、どのように子ども達の安全を確保するか、学びました。また実際に110番を用いて、警察が来るまでの対応を考えました。



後半は、体育館にて「刺股」の使い方について研修を深めました。

南が丘小学校では、子ども達が安全にそして安心して学校生活を送ることができるように全教職員一丸となって、様々な取組を行って参ります。

荒天時の登下校についてのお願い

これから台風等が多く発生する時季となります。

南が丘小学校では、登下校時に大雨や強風、雷等の悪天候が予想される場合は、次のような対応をとる場合があります。

- 1 登校時刻等に変更がある場合
 - ・午前6時30分頃から連絡網でお知らせいたします。
- 2 荒天により通常の下校が厳しいと判断した場合
 - ・一部の学年による集団下校…可能な範囲で教員が引率します。
 - ・全校一斉集団下校…天候状況がさらに厳しい場合(この場合も可能な範囲で職員が引率します)
 - ・学校待機…下校が危険であると判断(天候状況によっては、保護者の方にお迎えをお願いします。

尚、子どもたちの登校時の安全確保等について不安等がある場合は、自宅待機させるなどの対応をお願いいたします。その場合、必ず電話等で学校への連絡をお願いします。

檜山PTA連合研究大会・母親研修会

8月26日(日)、厚沢部町総合体育館にて、第67回檜山PTA連合会研究大会・母親研修会が行われ、南が丘小PTA会員15名が参加しました。

午前中は、パネルディスカッションが行われ、「PTA活動」、「子どもの育成」、「望ましい社会」について、6町からレポートが発表されました。

午後からは、北海道教育大学附属札幌小学校の栄養教諭である須合幸司先生を講師に「子どもの可能性を引きだそう！～学力・体力・身長・運動神経を伸ばす具体的な方法」と題して講演が行われました。

寝不足による仕事への影響を例にあげ、深い睡眠をとることの大切さを話されました。また寝る1時間前の強い光(ゲーム、テレビ)は、眠りを浅くしてしまうことや今の小学生は、生活リズムの乱れから朝、学校に行きたくても行けない子どもが増えているなど、大変興味深いお話をしてくださいました。



子どもの生活リズムを改善するためには、大人の生活リズムを変える必要があるなど、子育てをする大人の責任を考えさせられる講演となりました。

九月の行事予定

- 3日(月) 委員会、ALT来校
- 5日(水) 南が丘小学校公開研究会
- 6日(木) フレンズ班買い物
- 7日(金) フレンズ班遠足
- 10日(月) 納入日、クラブ
- 12日(水) 芸術鑑賞(1~4年)
チャレンジタイム(マラソン)
- 14日(金) 児童総会、チャレンジタイム(マラソン)



- 19日(水) 校内マラソン大会
- 20日(木) ALT来校、児童会選挙
- 21日(金) マラソン大会予備日、5年生追分学習
チャレンジタイム(短縄)
- 25日(火) 避難訓練(火災)
- 26日(水) 下校時見守り隊、チャレンジタイム(歌声)
- 27日(木) 納入日、ブラッシング指導(1,6年)
- 28日(金) 前期最終日

公開研究会は、2年生と5年生の5時間目の授業を公開します。
他の学年は給食後下校となります。詳しい下校時刻とは、各学年の学級通信をご覧ください。
また公開研究会については、別添の「学校力向上に関する総合実践事業」コーナー3をご覧ください。